

## 22年度診療報酬改定、 両側が総括

中央社会保険医療協議会（会長＝小塩隆士・一橋大学経済研究所教授）は2月9日に開いた総会で、2022年度診療報酬改定案を了承し、後藤茂之厚生労働相に答申した。

答申を受けて、佐藤英道・厚生労働副大臣は「新型コロナウイルス感染拡大で明らかになったさまざまな課題を踏まえた効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築や、医師等の働き方改革推進に向けて議論された。不妊治療の保険適用をはじめ患者・国民にとって安全・安心で質の高い医療の実現とともに、効率化・適正化を通じた制度の持続可能性も配慮された」と改定への所感を述べた。

改定に際して小塩会長は、「3つの課題があった」と、以下を振り返った。

- ▼高齢化の本格的な進展のもとでの保険医療体制の効率性と持続性の向上
- ▼新型コロナウイルス感染拡大に対する診療報酬での対応
- ▼不妊治療の保険適用、リフィル処方箋、オンライン診療など新たな改革の診療報酬への反映

これらの課題に対して「いわば連立三元方程式を解く必要があり、説くための議論をすべてオンラインで行うという異例の展開になったが、現時点で連立三元方程式のベストの解を得ることができた」と総括した。

### ●次回改定の課題にかかりつけ医機能の報酬体系再構築

また、支払側、診療側も改定を総括した。支払側からは松本真人委員（健康保険組合連合会理事）が「入院医療については、急性期、回復期、慢性期それぞれの報酬体系で患者の状態と医療資源の投入量に応じた評価を整理できた」と要件見直しの実現を評価。外来医療については「機能強化加算でかかりつけ医が担うべき役割が明確になった。オンライン診療の環境整備やリフィル処方箋の導入については患者の利便性が向上し、適切な治療機会の確保に役立つ」と総括した。さらに松本委員は、課題解決が進んだ項目として、以下を挙げた。

- ▼医療従事者の働き方改革
- ▼ヤングケアラー対策
- ▼後発医薬品やバイオ後続品の使用促進
- ▼大型チェーン薬局や敷地内薬局の評価見直し
- ▼外来医療・在宅医療・リハビリテーション医療の評価に向けたデータ収集の仕組み
- ▼不妊治療への対応
- ▼医療的ケア児の支援
- ▼医薬品の保険給付の適正化

さらに、24年度診療報酬改定を見据えた課題として、以下を指摘。

▼急性期一般入院基本料の「重症度、医療・看護必要度」の基準の見直し

▼かかりつけ医機能の報酬体系の再構築

「地域医療構想に基づく病床再編や外来医療をめぐるさまざまな影響を注視しつつ、答申書の附帯意見を踏まえた議論が必要」と訴えた。

診療側は城守国斗委員（日本医師会常任理事）が、「医療現場が疲弊しているなかで無理に入院基本料の要件を厳格化すると、地域の医療提供体制が崩壊して取り返しのつかないことになる。改定内容が医療現場に及ぼす影響を把握したうえで、何か問題があれば迅速に対応していくべきだということを経験できたのではないかと述べるにとどまった。

医療情報②  
厚生労働省  
発表

## ファイザーの経口治療薬を 特例承認

厚生労働省は2月10日、ファイザー社から承認申請されていた新型コロナウイルス感染症の経口治療薬「パキロビッドパック」（一般名：ニルマトレルビル、リトナビル）について、同日付で特例承認したと発表した。軽症者向けの経口薬としては2つ目となる。

後藤茂之厚生労働相は発表で、「モルヌピラビルとは作用の仕組みも異なり、高齢者や基礎疾患のある患者への治療の選択肢が増える」と期待感を示した。また、年内に合計200万回分を確保しているとし、年度内に納入予定のうち4万人分が先行輸入されており、2月下旬にも追加で納入される予定だとした。そのうえで、早ければ週明けの14日から、配送を開始する考えを示した。添付文書によると、同剤は「通常、成人および12歳以上かつ体重40kg以上の小児には、ニルマトレルビルとして1回300mgおよびリトナビルとして1回100mgを同時に1日2回、5日間経口投与」とされる。

医療情報③  
厚生労働省  
事務連絡

## パキロビッドパック、 27日までは試験運用期間

厚生労働省は2月10日付で、「新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（承認直後の試験運用期間）」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

同日付で特例承認されたファイザー社の「パキロビッドパック」について、現状では安定的な供給が難しいことから、一般流通は行わず、当面の間、厚労省が所有したうえで医療機関等に配分することを示した。また、併用禁忌の薬剤が多数あること等から、専門家から慎重な投与が必要との意見が上がったことを踏まえ、2月27日までの間は承認直後の試験運用期間と

して配分するとした。試験運用期間は、都道府県の病床確保計画に基づき報告されている新型コロナウイルス感染症患者受け入れ確保病床を有する医療機関や、都道府県が選定したパキロビッド対応薬局が、取り扱い可能。

試験運用期間中にこれらの施設における投与実績等をファイザー側で確認し、環境整備のうえ、2月28日以降、配分対象となる機関を拡大する。配分を希望する対象機関は、ファイザー社が開設する「パキロビッドパック登録センター」に登録し、同センターを通じて配分依頼を行うことになる。試験運用期間における具体的な登録方法は、新型コロナ病床確保医療機関ではファイザー社から送られる案内レターを確認するよう求めている。

パキロビッド対応薬局については、都道府県が選定・リスト化した薬局が対象で、希望する薬局に対して都道府県に相談するよう求めた。不明点等はパキロビッドパック登録センター専用ダイヤル（電話0120-661-060）に問い合わせる。

医療情報④  
厚生労働省  
事務連絡

## 保健所業務の重点化について整理 ～2月9日付で、都道府県等に宛てて事務連絡

厚生労働省は2月9日付で、「新型コロナウイルス感染症対応に係る保健所等による健康観察等について」を、都道府県等に宛てて事務連絡した。

保健所における新型コロナウイルス感染症対応に係る業務の重点化について整理している。発生届に関してはHER-SYSによる届出の徹底を、以下のように求めた。

- ▼受診した患者が「重点的に健康観察を行う対象者」に該当する場合、必ずHER-SYSを用いて発生届を提出する
- ▼重症化リスク因子は重点的に健康観察を行ううえで重要であるため、入力を行う
- ▼発生届の提出と併せ、「My HER-SYS URL 通知ボタン」を同時に押下する

また、陽性者の急増による保健所における業務の状況を踏まえ、当面の間陽性者の個人情報および医療機関情報に加え、まずは、以下の項目について記載すればよいとした。

その他の項目については、「追って届け出る」ことでよいと示した。

- ▼診断（検案）した者（死体）の類型
- ▼診断方法（検査方法、検体採取日）
- ▼診断年月日
- ▼発病年月日（有症状の場合）
- ▼ワクチン接種歴（回数、接種年月）
- ▼重症化リスク因子の有無および重症化リスク因子（免疫機能低下および妊娠を含む）
- ▼重症度
- ▼入院の必要性の有無

重点的に健康観察を行う対象者は、以下の3つを挙げた。

- ▼65 歳以上の者
- ▼40 歳以上 65 歳未満の者のうち、重症化リスク因子を複数持つ者
- ▼妊娠している方

さらに、改めて重症化リスク因子として、以下を示した。

- ▼ワクチン未接種（ワクチン接種が 1 回のみの者も含む）
- ▼慢性閉塞性肺疾患
- ▼糖尿病
- ▼脂質異常症
- ▼高血圧症
- ▼慢性腎臓病
- ▼悪性腫瘍
- ▼肥満（BMI30 以上）
- ▼喫煙
- ▼固形臓器移植後の免疫不全

医療情報⑤  
厚生労働省  
通知

## 変異株 PCR 検査、 必須とせず報告も終了

厚生労働省は 2 月 10 日付で、「新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査におけるゲノム解析及び変異株 PCR 検査について（要請）」の一部改正を、都道府県等に宛てて通知した。

新型コロナウイルスについては、全国的に B.1.1.529 系統（オミクロン株）に置き換わったとし、オミクロン株を含む変異株の発生動向を監視するため、実施率を 5～10%程度または 300～400 件／週程度を目安に、自治体主体で全ゲノム解析を実施するよう依頼している。

ただし、重症例・死亡例に対しては、可能な限り全例にゲノム解析を実施するよう求めた。

また、L452R 変異株（デルタ株）PCR 検査の陰性率（判定不能を除く）が 70%以上となった地域については、変異株 PCR 検査を必須としないことを示した。

ただし、重症例および死亡例については、可能な限り全例に対して変異株 PCR 検査・ゲノム解析を実施するよう依頼している。さらに、地方衛生研究所等で実施した L452R 変異株 PCR 検査等について、感染症法に基づく積極的疫学調査としての報告は終了と明示。ゲノム解析については、引き続き毎週の報告を求めている。

医療情報⑥  
厚生労働省  
通知

## 移動式の衛生検査所の 取り扱いを通知

厚生労働省は 2 月 9 日付で、「新型コロナウイルス感染症に係る検査を車両により移動して行う衛生検査所の取り扱いについて」を、都道府県等に宛てて通知した。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の検査体制を迅速に確保するため、衛生検査所について、車両により移動して実施する場合の取り扱いについて示した。

すでに臨床検査技師等に関する法律等に基づき登録を受けた衛生検査所が、その業務を車両

により移動して行う場合は、新たに衛生検査所の登録の手続きを要しないとした。

ただし、当該衛生検査所を登録した都道府県は、以下の提出を求め、移動して業務を行おうとする場所を所管する都道府県に情報提供するよう求めた。

- ▼衛生検査所の開設者の名称および主たる事務所の所在地 ▼衛生検査所の名称および所在地
- ▼検査業務の実施年月日、実施場所、医師または臨床検査技師である実施責任者および精度管理担当者等を記した実施計画

一方、新たに登録を受ける衛生検査所が、その業務を車両により移動して行う場合は、臨床検査技師等に関する法律施行規則に基づく登録の手続きが必要とした。

ただし、COVID-19の病原体核酸検査のみを取り扱うために臨時的に開設する場合は、「新型コロナウイルス感染症に係る病原体核酸検査のみを行うために衛生検査所を臨時的に開設する場合の取り扱いについて」（2020年3月5日付医政局長通知）に基づき取り扱うよう求めている。

これらの取り扱いについては、COVID-19に関する検査体制を迅速に確保する必要がある場合に特に認められるものとし、必要と認められなくなった場合には、直ちに、この取り扱いによる車両により移動して行う衛生検査所の業務を中止するよう指導するよう求めている。

医療情報⑦  
厚生労働省  
事務連絡

## 医療従事者の 濃厚接触対応を一部改正

厚生労働省は2月10日付で、都道府県等に宛てて「医療従事者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について」の一部を改正する事務連絡を行った。オミクロン株の濃厚接触者の待機期間が7日となったことを踏まえ、Q&A等を改正している。

検査期間について、最終曝露日から14日間としていることについて、オミクロン株の濃厚接触者の場合は最終曝露日から7日間とすることを追記。

また、社会機能維持者として、事業者が4日目と5日目に抗原定性検査キットによる自費検査を行い、結果が陰性だった場合に、待機期間の7日を待たずに解除することが可能と示した。

医療情報⑧  
厚生労働省  
事務連絡

## 障害福祉サービス等での 積極的な追加接種検討を

厚生労働省は2月8日付で、「障害福祉サービス事業者等の利用者および従事者に対する追加接種の速やかな実施について」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。



新型コロナウイルスワクチンの追加接種については、「自治体の判断により、地域における社会機能を維持するために必要な事業の従事者等について優先的に接種を行うことも検討する」方針が示されており、事務連絡ではこれを踏まえ、「障害福祉サービス事業所・施設や障害児入所施設・障害児通所支援事業所等の従事者等に優先的に接種を行うことも考えられる」とし、積極的な追加実施を検討するよう求めている。

医療情報⑨  
厚生労働省  
事務連絡

## 保護施設等での 積極的な追加接種も検討を

厚生労働省は2月9日付で、「保護施設等の利用者及び従事者に対する追加接種の速やかな実施について」を、都道府県と市区町村に宛てて事務連絡した。

高齢者施設等の入所者および従事者等については、初回接種の完了から6カ月以上の接種間隔において追加接種を実施できるとされているが、事務連絡では、「高齢者施設等」には高齢者が入所・居住する保護施設等も含まれると指摘。保護施設等の利用者・従事者について、「重症化のリスクが高い入所者が多い施設における接種を優先することに留意しつつ、各自治体の保護施設担当部局と衛生主管部局とで連携して追加接種の積極的な実施」を検討するよう求めている。

また、追加接種を実施する場合、高齢者の入所者等に限らず、施設単位で初回接種の完了から6カ月以上経過している高齢者以外の入所者等に同時に接種することも「差し支えない」としている。

医療情報⑩  
政府  
公表

## コロナワクチン接種、 3回接種完了は997万人

政府が公表した新型コロナウイルスワクチンの接種実績によると、2月9日の一般接種は、1回目が4715回、2回目が4813回の、合わせて9528回だった。

また、同日の追加接種（3回目）は、ファイザー社が29万4564回、モデルナ社が15万8023回の、合わせて45万2587回だった。2月9日までの総接種回数は2億1140万1896回で、このうち高齢者は6613万8923回、職域接種が1939万507回だった。

全体では1回以上接種者が1億148万129人で接種率は80.1%。このうち高齢者は3312万9997人で接種率は92.6%。2回接種完了者は、全体では9995万1484人で接種率78.9%、うち高齢者は3300万8926人で、接種率は92.3%。

また、3回接種完了者は997万283人で、接種率は7.9%だった。

医療情報⑪  
2月13日  
現在

## 国内の死者、累計で2万人超、重症者も増加傾向

厚生労働省のまとめによると、日本国内の新型コロナウイルスへの感染状況は、2月13日零時時点で、前日より6万8470人増えて、合わせて383万1964人となった。

このうち、チャーター便による帰国者が15人、空港等検疫が1万584人、国内事例が382万1365人。国内の死者は、前日から143人増えて2万202人となった。

すでに退院等している人は、前日より7万4339人増えて291万9314人となった。入院治療を要する87万1216人のうち、人工呼吸器装着または集中治療室に入室している重症者は、前日から14人増えて1366人だった。2月7日までの国内（国立感染症研究所、検疫所、地方衛生研究所・保健所等）のPCR検査の実施件数は4813万1747件だった。

2月13日零時時点での都道府県別の陽性者数は、東京都が78万9856人（死亡3298人）で最も多く、次いで大阪府の49万2259人（死亡3340人）、神奈川県が34万2631人（死亡1428人）、愛知県の23万1797人（死亡1306人）、埼玉県の23万946人（死亡1099人）などとなっている。

### ●陽性者100万人超え、55の国と地域に

厚労省のまとめ(図表)によると、2月13日15時時点の世界の新型コロナウイルスへの感染状況について、米国では陽性者が7770万人あまりに達した。死者数は約91万9000人となった。

インドでは、感染者が約4259万人で、死者は約50万8000人。ブラジルでは感染者数が約2743万人で、死者は約63万8000人だった。

このほか陽性者が1000万人を超えているのは、フランス、英国、ロシア、トルコ、ドイツ、イタリア、スペインの、合わせて10の国と地域、100万人を超えているのは、合わせて55の国と地域。感染者が10万人を超えているのは119の国と地域。

ヨーロッパでは、フランスで陽性者が約2177万人で死者が約13万6000人。英国では陽性者が約1839万人、死者が約16万人に達した。

ロシアでは陽性者が約1373万人で死者は約33万3000人。ドイツでは約1239万人が陽性となり、イタリアでは約1205万人、スペインで約1060万人の陽性が確認されている。

中南米では、ブラジルのほか、アルゼンチンで約873万人、コロンビアで約601万人、メキシコで約528万人、ペルーで約342万人の陽性が確認されている。

アジアでは、インドのほかインドネシアで陽性者が約471万人となったほか、フィリピンで約363万人、マレーシアで約302万人、タイで約259万人、ベトナムで約248万人となった。

中東地域では、イランで感染者が約678万人、イラクでも約227万人となっている。

アフリカ諸国では、南アフリカで陽性者が約 364 万人、モロッコで約 115 万人となっている。

(図表)国別の感染者・死亡者の状況

国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者
米国	77,707,349	919,253	ポルトガル	3,069,128	20,492
インド	42,586,544	507,981	マレーシア	3,019,163	32,114
ブラジル	27,434,286	638,346	豪州	2,902,294	4,593
フランス	21,765,182	135,695	タイ	2,593,327	22,436
英国	18,392,137	160,076	チリ	2,582,934	40,464
ロシア	13,728,138	332,727	ルーマニア	2,550,348	61,520
トルコ	12,834,534	90,266	スイス	2,537,734	12,933
ドイツ	12,391,463	119,939	ベトナム	2,484,481	38,862
イタリア	12,053,330	150,824	スウェーデン	2,397,330	16,501
スペイン	10,604,200	95,995	デンマーク	2,328,905	4,067
アルゼンチン	8,728,262	123,987	イラク	2,273,535	24,678
イラン	6,780,453	133,570	オーストリア	2,248,713	14,360
コロンビア	6,014,563	136,953	ギリシア	2,163,240	24,679
オランダ	5,763,010	21,955	バングラデシュ	1,904,826	28,791
ポーランド	5,356,647	108,089	スロバキア	1,841,934	18,081
メキシコ	5,283,852	312,697	セルビア	1,834,974	14,366
ウクライナ	4,708,604	109,483	ハンガリー	1,695,991	42,360
インドネシア	4,708,043	144,958	パキスタン	1,483,798	29,772
南アフリカ	3,640,162	96,985	ヨルダン	1,450,810	13,477
フィリピン	3,634,368	54,930	ジョージア	1,438,353	15,516
ペルー	3,424,894	207,965	カザフスタン	1,377,390	18,736
ベルギー	3,421,081	29,624	韓国	1,350,630	7,081
イスラエル	3,394,758	9,466	アイルランド	1,242,806	6,291
チェコ	3,385,250	37,765	モロッコ	1,154,531	15,766
カナダ	3,186,067	35,439	キューバ	1,059,834	8,467